

2022年度 事業報告書

2022年4月1日～2023年3月31日

法人の名称 特定非営利活動法人 アクションおっぱま

1 事業活動方針

当年度は、市民、大学、企業、行政ならびに追浜観光協会、(協)追浜商盛会等各地域団体との連携により地域まちづくりの課題解決と人材育成に重点を置き取り組んでゆく。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 誰でもが地域に住み続けるための条件整備に関する事業

ア 地域まちづくりに関する相談・支援事業

- ・内 容 これまでの当法人の活動の実績をもとに、おっぱまのまちづくりに関する相談等に対応し、可能な範囲での支援、協力を行う。
まだ新型コロナウイルスの感染は予断を許さなかったが、2021年に後援した「若布収穫祭」を、地元関係者との協働により継続して実施した。
- ・日 時 2022年4月～2023年3月
- ・場 所 深浦漁港
- ・従事者人員 当法人役員、地元関係者 10名
- ・受益対象者 追浜地域住民、隣接地域住民
- ・支 出 額 0円

イ NPO法人アクションおっぱまの会報「あんず通信」の編集・発行

- ・内 容 追浜の地域活性化につながる編集企画を検討し、イベント等での配布拡大に努めた。発行回数は例年の年2回、4ページ(A4版)、発行部数200部を目標としたが、新型コロナウイルスの感染による活動の縮小が続いたため、年1回合併号として発行した。
- ・日 時 2022年4月～2023年3月
- ・場 所 当法人事務所
- ・従事者人員 当法人役員4名
- ・受益対象者 追浜地域住民、隣接地域住民等
- ・支 出 額 55,000円

② 地域資源の保存・活用に関する事業

ア 第三海堡遺構の見学・ガイドツアー事業

- ・内 容 第三海堡遺構の見学については、毎月第一日曜日を予約無しでの一般公開日とするとともに、団体の予約受付も行った。また地域イベントでの公開も行い、いずれの場合も「おっぱまはっけん倶楽部」の全面的な協力の下に実施した。団体は、遊子の会(金沢区)とコスプレグループの利用があった。コスプレグループは、説明を聞いてからの撮影という条件を守り、特に問題はなかった。
コロナウイルス感染拡大が一応の収束を見せたため、「わい！フェスタおっぱま」やアイクルフェアも開催され、多くの人が集まった。特に「わい！フェスタ」では計測不能なほどの入場者があった。
一般公開日(年間11回、雨天中止1回)計434人
団体 計28人(2団体) *貝山地下壕見学会での見学は含まず

イベント公開 わい！フェスタおっぱま 多数（計測不能）
アイクルフェア 181人

- ・日 時 2022年4月から2023年3月まで
- ・場 所 夏島都市緑地
- ・従事者人員 当法人役員、会員等 延約55人 ※従事者の数で参加者ではない
*おっぱまはっけん倶楽部会員の協力を求めた。
- ・受益対象者 追浜在住、近隣住民その他見学を希望する一般市民
- ・支 出 額 0円

イ 貝山地下壕一般公開に関する事業

- ・内 容 貝山地下壕一般公開によるガイドツアーが実施2年目となる。ホームページから一般の見学者を募集する企画ツアー（2ヶ月に1回開催、定員16名）幸い毎回早いうちに定員に達している。また他に団体の申し込みが6回ありいずれも日程調整をして実施した。
企画ツアー 参加者87人、団体モニターツアー 参加者45人 計132人
なお、ガイドの人数は不足気味であり、補充する必要があると考えられる
- ・日 時 2022年4月～2023年3月
- ・場 所 貝山地下壕等
- ・従事者人員 当法人役員、会員等 延約30人
- ・受益対象者 貝山地下壕見学者
- ・支 出 額 43,198円

ウ 追浜の自然や歴史遺産をいかすフィールドミュージアム構想検討事業

- ・内 容 フィールドミュージアム構想に活用できる解説ガイドを、当法人中心におっぱまはっけん倶楽部等諸団体と協働し、地域に広がる景観や歴史散策コース「階段のある谷戸の暮らしや旧海軍航空遺構」等を見学ポイントとし、前年に引き続き資料作成を行った。
デジタル化に備えた資料の整理と調整には、追浜地域運営協議会の事業化を要望しており、1年遅れとなるが2023年度には事業化される見込みである。
- ・日 時 2022年4月～2023年3月
- ・場 所 追浜地域内、追浜行政センター内
- ・従事者人員 当法人役員、会員等
- ・受益対象者 追浜地域住民及び近隣住民
- ・支 出 額 0円

エ 各種冊子の販売

- ・内 容 当期は『東京湾第三海堡物語』の販売を行うとともに、『追浜トンネル物語』を200部増刷した。また『貝山地下壕 見学のしおり』（一般向）の500部増刷を決定した。
- ・日 時 2022年4月～2023年3月
- ・場 所 当法人事務所等
- ・従事者人員 当法人役員等
- ・受益対象者 追浜地域住民、第三海堡等地域資源に関心を持つ一般市民
- ・支 出 額 74,800円

③ まちづくりの人材育成に関する事業

ア 各種団体との交流と人材育成の実施

- ・内 容 追浜地域の各種団体と地域住民あるいは大学とをつなげる活動を行う。
追浜地域以外、市域を越えたところでも共通する課題に取り組む団体と連

携する。今年度は、湘鷹みんなの部屋の壁画について、関東学院大の学生と協働できないかとの相談を受けて、大学との橋渡しを行ない、壁画制作を実現させた。

- ・日 時 2022年4月～2023年3月
- ・場 所 関東学院大学、こみゆに亭カフェ等
- ・従事者人員 当法人役員、会員など延べ10名
- ・受益対象者 湘南鷹取地域住民及び周辺地域住民他
- ・支 出 額 0 円

イ 情報発信手段の維持・充実

- ・内 容 各種団体や地域住民と当法人をつなげ、活動を紹介する方法として、ホームページの維持管理、拡充に努める。
- ・日 時 2022年4月～2023年3月
- ・場 所 当法人事務所等
- ・従事者人員 当法人役員、会員など3名
- ・受益対象者 追浜地域住民他一般市民
- ・支 出 額 66,000 円

以上